



平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年9月28日

上場取引所 東

上場会社名 DCMホールディングス株式会社
コード番号 3050 URL <http://www.dcm-hldgs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長
四半期報告書提出予定日 平成24年10月15日

(氏名) 久田宗弘
(氏名) 鎌田清孝
配当支払開始予定日

TEL 03-5764-5214
平成24年11月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	226,612	△2.0	12,277	△14.2	12,272	△13.8	7,102	30.5
24年2月期第2四半期	231,124	6.1	14,309	49.7	14,239	48.3	5,441	1.3

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 6,596百万円 (25.9%) 24年2月期第2四半期 5,237百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	49.00	—
24年2月期第2四半期	37.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	309,642		143,767		46.4	
24年2月期	303,950		141,424		46.5	

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 143,767百万円 24年2月期 141,424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年2月期	—	7.50	—	9.00	16.50
25年2月期	—	9.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	442,800	0.2	20,000	1.2	19,600	0.0	10,500	29.3	71.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期2Q	149,588,723 株	24年2月期	149,588,723 株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	7,136,117 株	24年2月期	2,341,255 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期2Q	144,961,730 株	24年2月期2Q	146,949,255 株

(注) 自己株式数には、従業員持株ESOP信託口の所有する当社株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
商品別売上情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金制度などによる景気の下支え効果もあり、国内景気には緩やかな回復の兆しが見られました。しかしながら、長引く過度な円高や債務危機による欧州経済の停滞、また、中国をはじめとする新興国経済にも減速傾向があることなどから、国内景気の先行きには予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、新規出店については7店舗、退店については3店舗を実施いたしました。これにより当連結会計期間末日現在の店舗数は510店舗（カーマ132店舗、ダイキ159店舗、ホームマック219店舗）となりました。なお、ホームマックにおいては、震災地域である岩手県内に、多くのお客様からのご要望にお応えすべく、仮設店舗方式により2店舗を新規開店しております。

販売面においては、昨年の地上デジタル放送への移行に伴い販売数が伸びたテレビ、地デジチューナー、アンテナ工事などの需要が減少しております。その反面、植物や園芸用品については、「一坪菜園」企画やDCMブランドの「栽培セット」などの販促効果などもあり、売上が好調に推移しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は2,266億1千2百万円（前年同期比98.0%）、営業利益は122億7千7百万円（前年同期比85.8%）、経常利益は122億7千2百万円（前年同期比86.2%）、四半期純利益は71億2百万円（前年同期比130.5%）となりました。

なお、セグメントごとの業績については、9ページ「セグメント情報等」をご覧ください。

(主要商品部門別の状況)

① 園芸・エクステリア部門

園芸用品では、4月中旬までは低温などの天候不順により売上が伸び悩みましたが、天候の回復や新規DCMブランド商品の導入に伴い野菜苗、栽培セット、支柱、用土といった家庭菜園用品が好調でした。また、雑草対策商品では草刈安全用品としてのフェースガードや作業ズボンなど、新規取り組みを行った商品が好調でした。その結果、売上高は419億1百万円となりました。

② ホームインブルーメント部門

昨年の震災需要の反動により建築資材などの売上が伸び悩みましたが、春の爆弾低気圧通過など天候不順による需要で釘・針金、波板、雨どいなど屋外作業用品が好調でした。また、スチームクリーナーなどの新規取り組み商品が好調でした。その結果、売上高は375億4千万円となりました。

③ ホームレジャー・ペット部門

カー用品では、カーナビ関連の売上が伸び悩みましたが、芳香剤やカラークッションなどの新規取り組み商品が好調でした。サイクル用品では、販売台数全体が減少する中において、積極的に取り組んだ「パンクしないタイプ」の自転車好調でした。ペット用品では、ペットの小型化や高齢化などにより趣向性の高い衣料の売上が伸び悩みましたが、犬・猫用の専門食が好調でした。その結果、売上高は350億2千8百万円となりました。

④ ハウスキーピング部門

昨年の震災需要の反動によりキッチン用品や浴用品などの売上が伸び悩みましたが、日用消耗品においては香りが持続する柔軟剤や抗菌剤配合洗濯洗剤などの高付加価値、高単価の商品が好調でした。文具用品では、プリンターインク、OA用紙等の消耗品や消せるボールペン、加圧式ボールペンなどの機能商品が好調でした。食料品では、防災に関する需要として缶詰やレトルト食品が好調でした。その結果、売上高は613億6千2百万円となりました。

⑤ ホームファニッシング部門

収納用品では、震災需要の反動で売上が伸び悩みましたが、新規企画として取り組んだオフィス家具が好調でした。インテリア用品や寝具では、6月の台風上陸など天候不順により、天然素材商品や日除け商品の売上が伸び悩みましたが、春の新生活需要や夏の敷きパッドといった季節商品が好調でした。その結果、売上高は175億6千9百万円となりました。

⑥ ホームエレクトロニクス部門

昨年の地上デジタル関連需要や震災需要の反動が大きく全体として売上が伸び悩みましたが、LED照明やLED電球といった節電やエコ対策関連商品が好調でした。また、携帯電話関連商品やマッサージ機など今期取り組みを行った商品も好調でした。その結果、売上高は205億2千3百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産残高は、新規7店舗の出店などにより有形固定資産が増加したことや、季節的要因により商品在庫および売掛金が増加したことなどから、資産合計は前連結会計年度末に比較して56億9千2百万円増加し、3,096億4千2百万円となりました。

負債残高は、未払法人税等や賞与引当金の支払いによる減少や、季節的要因により買掛金が増加したこと、また、長期運転資金の借入れなどから、負債合計は前連結会計年度末に比較して33億4千9百万円増加し、1,658億7千5百万円となりました。

純資産残高は、配当金の支払いや自己株式の取得、四半期純利益の増加などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して23億4千2百万円増加し、1,437億6千7百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益120億円、減価償却費48億7千6百万円、売上債権の増加額10億5千7百万円、たな卸資産の増加額21億8千万円、仕入債務の増加額28億3千万円、法人税等の支払額45億3千万円などにより、79億9千4百万円の収入となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、新規出店などの有形固定資産の取得による支出83億9百万円、敷金及び保証金の回収による収入11億2千万円および差入による支出9億4千2百万円などにより、89億3百万円の支出となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、短期借入金の減少額49億5千万円、長期借入れによる収入200億円及び返済による支出109億5千2百万円、自己株式取得による支出30億1千4百万円、配当金支払いによる支出13億2千4百万円などにより、1億6千2百万円の支出となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の四半期末残高は前連結会計年度末に比べ10億7千1百万円減少し、139億8千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の連結業績予想につきましては、平成24年4月10日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,470	14,399
受取手形及び売掛金	3,255	4,313
リース投資資産	589	2,529
商品	72,602	74,782
繰延税金資産	2,620	1,302
その他	5,575	5,250
貸倒引当金	△8	△2
流動資産合計	100,105	102,574
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	146,617	148,188
減価償却累計額	△86,456	△87,475
建物及び構築物（純額）	60,160	60,713
土地	67,570	71,229
リース資産	4,076	4,076
減価償却累計額	△347	△454
リース資産（純額）	3,728	3,621
建設仮勘定	708	841
その他	20,357	21,755
減価償却累計額	△14,542	△15,727
その他（純額）	5,815	6,027
有形固定資産合計	137,983	142,432
無形固定資産		
借地権	5,807	5,830
ソフトウェア	4,748	4,773
その他	196	199
無形固定資産合計	10,752	10,802
投資その他の資産		
投資有価証券	7,514	6,691
敷金及び保証金	42,184	41,983
繰延税金資産	1,343	1,275
長期前払費用	2,699	2,566
その他	1,434	1,374
貸倒引当金	△66	△60
投資その他の資産合計	55,108	53,831
固定資産合計	203,844	207,067
資産合計	303,950	309,642

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,774	48,604
短期借入金	27,300	22,350
1年内返済予定の長期借入金	20,715	23,674
リース債務	77	80
未払法人税等	4,419	3,444
繰延税金負債	10	—
賞与引当金	4,026	1,746
ポイント引当金	410	424
その他	11,016	11,018
流動負債合計	113,748	111,343
固定負債		
長期借入金	33,950	40,038
リース債務	4,110	4,069
繰延税金負債	411	321
再評価に係る繰延税金負債	219	219
退職給付引当金	454	455
役員退職慰労引当金	23	16
資産除去債務	1,192	1,213
長期預り金	5,657	5,612
負ののれん	63	72
その他	2,694	2,512
固定負債合計	48,776	54,531
負債合計	162,525	165,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	41,603	41,603
利益剰余金	91,920	97,698
自己株式	△956	△3,885
株主資本合計	142,566	145,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	750	259
繰延ヘッジ損益	14	0
土地再評価差額金	△1,906	△1,906
その他の包括利益累計額合計	△1,141	△1,648
純資産合計	141,424	143,767
負債純資産合計	303,950	309,642

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
売上高	228,785	223,926
売上原価	159,122	156,980
売上総利益	69,662	66,945
営業収入		
不動産賃貸収入	2,339	2,685
営業総利益	72,002	69,631
販売費及び一般管理費	57,692	57,353
営業利益	14,309	12,277
営業外収益		
受取利息	133	133
受取配当金	171	198
その他	235	270
営業外収益合計	539	603
営業外費用		
支払利息	505	542
支払手数料	93	29
その他	10	36
営業外費用合計	609	608
経常利益	14,239	12,272
特別利益		
固定資産売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	198	—
店舗閉鎖損失戻入額	92	—
その他	36	—
特別利益合計	327	—
特別損失		
固定資産除売却損	93	189
投資有価証券評価損	59	55
減損損失	989	24
店舗閉鎖損失	7	—
出店計画中止損	4	—
災害による損失	2,945	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	697	—
その他	133	2
特別損失合計	4,931	272
税金等調整前四半期純利益	9,635	12,000
法人税、住民税及び事業税	3,925	3,336
法人税等調整額	268	1,561
法人税等合計	4,194	4,897
少数株主損益調整前四半期純利益	5,441	7,102
四半期純利益	5,441	7,102

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,441	7,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△202	△491
繰延ヘッジ損益	△0	△15
その他の包括利益合計	△203	△506
四半期包括利益	5,237	6,596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,237	6,596
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,635	12,000
減価償却費	4,583	4,876
減損損失	989	24
のれん償却額	47	8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	393	△2,279
受取利息及び受取配当金	△304	△332
支払利息	505	542
固定資産除売却損益 (△は益)	93	189
災害損失	2,945	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	697	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△960	△1,057
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,383	△2,180
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,034	2,830
その他	△2,819	△2,686
小計	22,457	11,936
利息及び配当金の受取額	194	332
利息の支払額	△257	△544
法人税等の支払額	△2,702	△4,530
法人税等の還付額	693	801
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,385	7,994
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,539	△8,309
有形固定資産の売却による収入	226	92
無形固定資産の取得による支出	△797	△1,004
敷金及び保証金の差入による支出	△707	△942
敷金及び保証金の回収による収入	1,580	1,120
投資有価証券の売却による収入	23	10
貸付金の回収による収入	44	35
その他	△140	93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,309	△8,903
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30,500	△4,950
長期借入れによる収入	26,500	20,000
長期借入金の返済による支出	△8,575	△10,952
自己株式の取得による支出	△0	△3,014
配当金の支払額	△1,101	△1,324
その他	△1	79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,678	△162
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△602	△1,071
現金及び現金同等物の期首残高	19,216	15,053
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,613	13,982

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	カーマ	ダイキ	ホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	68,184	59,268	103,561	110	231,124	—	231,124
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	2	11,819	11,823	△11,823	—
計	68,184	59,270	103,563	11,930	242,948	△11,823	231,124
セグメント利益	4,223	2,421	7,675	1,070	15,391	△1,081	14,309

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△1,081百万円には、セグメント間取引消去△1,153百万円、その他72百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	カーマ	ダイキ	ホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	67,220	57,865	101,411	114	226,612	—	226,612
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	2	20,065	20,069	△20,069	—
計	67,220	57,867	101,413	20,180	246,681	△20,069	226,612
セグメント利益	3,278	2,049	6,680	1,958	13,966	△1,688	12,277

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△1,688百万円には、セグメント間取引消去△1,700百万円、その他11百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

自己株式の取得

当社は、平成24年4月10日及び平成24年6月29日開催の取締役会における自己株式の取得に関する決議に基づき、自己株式取得を行いました。これにより、自己株式が3,011百万円増加しております。

4. 補足情報
商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第2四半期 連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)		当第2四半期 連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)		(参考) 前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸・エクステリア	40,197	17.6	41,901	18.7	64,240	14.7
ホームインプルーブメント	37,596	16.5	37,540	16.8	74,265	17.1
ホームレジャー・ペット	36,218	15.8	35,028	15.6	65,779	15.0
ハウスキーピング	63,004	27.5	61,362	27.4	122,376	28.0
ホームファニッシング	18,315	8.0	17,569	7.8	35,389	8.1
ホームエレクトロニクス	25,621	11.2	20,523	9.2	55,710	12.7
その他	7,830	3.4	10,000	4.5	19,375	4.4
合計	228,785	100.0	223,926	100.0	437,138	100.0

(注) 1. 記載金額には消費税等は含まれておりません。

2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸・エクステリア	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、植物、エクステリア、屋外資材他
ホームインプルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニッシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、住宅設備、電材・照明、AV情報機器他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他